

6月21日 第1回合同授業 「違い＝なかよくなるタネ」

前山小学校と竹田小学校の学校統合に向けて、前山小の全児童がバスで竹田小学校に来て一緒に学ぶ合同授業を実施しました。5月の対面式に続き、今回は一緒に学習に取り組みました。

先生方とは、以下の目的を共有し、授業は両校の教師がT1（主指導者）となることで、児童理解だけでなくお互いの特色も理解が深まると考えました。

子どもたちが、統合する（一緒に学ぶ・遊ぶ）ことが楽しい・楽しみと思える出会いと交流を。

また、互いの学校の特色（学級経営、子どもたちの様子など）について理解を深める場に。

学年	2時間目	3時間目
1年	算数 いろいろなかたち 	体育 マットあそび 
2年	国語 ことばで絵をつたえよう 	図工 「しんぶんし」となかよし 

図工 しずくのもようをデザインしよう



3年

国語 メモを取りながら聞こう



社会 ごみのしやりと活用



4年

道徳 みんなちがってみんないい



体育 マット運動



5年

外国語 Hello Friends



道徳 世界人権宣言から学ぼう



6年

国語 複合語



どの授業も、対話や交流する場面を設定し、子ども同士が触れ合う機会を意識的に設けるように工夫していました。

「人数が多くて緊張した」と感想を伝えていた子どもたちもいましたが、「自分から声をかけることができてよかった」「普段は出ないような意見がたくさん聞けて楽しかった。考えを深めることができた」など初めての合同授業に子どもたちや先生方もこれからが楽しみに思える交流になったのではないかと感じました。



左写真は業間休みの様子です。たくさんの子がグラウンドに出て仲良く遊んでいました。

もちろん授業での交流も大事ですが、こうした自由時間にこそ、子どもたち同士の交流が進むと感じています。

人権講演会の際講師の春川先生が統合を控えた子どもたちや保護者に『みんな違ってみんないい』『違いがあるからこそ仲良くできる』『勘違いがあるから仲良くなれる』といろんなエピソードを交えながらお話してくださいました。子どもたちも私たち教職員も『違い＝仲良くなるタネ』と捉えてこれからもいろんな交流を続けていきたいと考えています。